



# しらさぎ

求めて学ぶ 考えて行う 自ら鍛える

目黒区立第八中学校  
学校だより NO.14  
(通巻223号)  
令和2年(2020)  
12月15日(火)

## 『人権週間の取組』

校長 飯野 博史

木枯らしにコートの手を立てる季節を迎えました。体調管理、感染防止に留意しながら年末年始を迎えましょう。

12月10日は「人権デー」でした。八中では先週1週間を「人権週間」とし、様々な取組を行いました。

### ■『美しい母の顔』

7日(月)人権週間のスタートにあたり、放送による全校朝礼で校長が「人権講話」を行いました。道徳教材『美しい母の顔』の朗読をCDで聞きました。何回読んでも涙の出る教材です。生徒たちに感想文を書いてもらいました。裏面に掲載します。

### ■いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議

9日(水)大岡山小学校6年生と八中2年生が、いじめのない学校を目指して「コミュニケーションの仕方を考える」をテーマに30のグループに分かれて話し合いをしました。

導入では「まじめだね」「おとなしいね」「一生懸命だね」「個性的だね」「マイペースだね」という5つの言葉を取り上げて、人によって感じ方が違う言葉があることに気付きました。

「いじめ」をなくすにはどうしたらよいか、6年生からも様々な意見が出ました。最後に「いじめ防止スローガン」を作成し、いじめ防止への思いを新たにしました。話し合いをリードする2年生にたくましさを感じました。

### ■オリンピック・パラリンピック教育講演会 (人権講演会)

10日(木)パラリンピック競泳 木村敬一選手による講演会を実施しました。初めてZOOMを使った講演会でした。

3大会連続でパラリンピックに出場しメダルを6個獲得した木村選手の水泳に懸ける思いを受け止めるとともに、東京パラリンピックに向けて悲願の金メダルを目指す姿に感動しました。

オンラインによる講演会でしたが生徒たちはメモを取りながら真剣に聞いていました。

感想は「しらさぎ」1月号に掲載予定です。



「いじめ問題を考える  
めぐろ子ども会議」  
話し合いの様子



オリンピック・パラリンピック  
教育講演会(人権講演会)  
木村選手と各教室をオンライン  
でつなぎました。

## 『美しい母の顔』あらすじ

中学生M子の母親の右のほおには一面に大きなヤケドのあとがあります。子供の頃ヤカンをひっくり返してこうなったのだとM子は聞かされていました。M子はそのヤケドのあとが大嫌い、なるべくお友達に見られないようにしていました。M子の誕生日に「お友達を呼んだら？」と言う母に「そんなこと。はずかしくてお友達なんか呼べないわ」と怒って答える有様でした。また、学校に忘れ物を届けてくれた母に「お母さん、学校へ来ちゃ駄目って言ったでしょ。そんなおばけみたいな顔でいつまでもいないでよ！」と怒鳴ってしまいました。

その夜、父から母のヤケドがどうしてできたのか知らされます。「M子が一歳のとき火事があり、M子を守ろうとお母さんが毛布でM子を包み、必死で逃げ出したんだ。ヤケドはその時のヤケドなんだよ。」父の話にM子は泣き崩れるばかりでした。

## ◎『美しい母の顔』感想文

- ・この話を聞いて目がうるうるするのと同時に、今の自分はどうかと考えました。私は親と仲が良く、友達のようにふざけ合うので、改めて感謝の気持ちを伝えるのがとても恥ずかしく感じます。また、最近親に世話を焼かれると、「言われなくても分かっている」と反抗してしまいます。时期的なものとはいえ、それによって優しさでやってくれた親の気持ちを傷付けていたのかな、と反省しました。

私の母もM子さんの母のように人と違うところがあります。私は見慣れていてあまり違和感を感じませんが、外に出るときは私のことを思って隠してくれます。いつかありのままの姿で一緒に出かけようと思います。家族が元気に過ごせる今、改めて感謝を伝えたいです。

- ・『美しい母の顔』を聞いて、母に感謝しないとな、と思いました。私も昔「学校に来ないで」とよく言っていました。なぜなら母がとても太っているからです。母は昔とても細かったのに、私を妊娠してから太りました。そして出産するときに骨盤がゆがんでしまい、痩せにくくなったそうです。「私のせいでなったのに、そんなこと言ってごめん。」今はそう思います。これからは母に感謝して生活していきたいです。また、母の支えになれるように頑張りたいです。

- ・朝礼で『美しい母の顔』と言う話を聞きました。とても私の心に残る話でした。母はどんなときでも自分の幸せ（子どもの幸せ）を一番に願っているのだと改めて知ることができました。実を言うと、私は昨日両親とケンカをしてしまい、とても汚い言葉をそのときに使ってしまった。その後、仲直りをしたものの、母から「汚い言葉を言われたのはすごく悲しかった。」と伝えられてとても後悔しました。だからこれからは両親が健康であるうちにしっかりと親孝行をしていきたいと思っています。

- ・私も一時期、友達に自分の両親を見られるのがはずかしいときがありました。今日の校長先生の話聞いて、そんなことを思っていた自分がはずかしくなりました。M子さんの母が顔にヤケドを負ってまでM子さんの命を助けた愛の強さに感動しました。私ももしM子さんだったら、M子さんと一緒に母の顔を見られるのが嫌だったと思います。でも母がヤケドを負った本当の理由を知ったら、自分を命がけで守ってくれた母は誇りだと思います。日頃両親に感謝することを忘れないようにしたいです。

※ 他にも心の温まる感想文がたくさんありました。身近な家族にも感謝の言葉が伝えられるといいですね。